



# 吉原

舞鶴市立吉原小学校  
学校だより  
2月号  
令和8年1月30日

HP  
2次元コード



教育目標

「夢」に向かい、根気よく努力する子どもの育成



## 情報社会で生きる力を育てる



3学期が始まってから、早1カ月が終わろうとしています。1月は「行く」とも言いますが、あっという間に「行ってしまった」感じです。2月もこの調子だと、すぐ「逃げて」しまうのだろうと思います。

さて、最近海外ではオーストラリアで16歳未満のSNS利用を制限する法律が整備されたことが報道されました。また国内では、愛知県豊明市において、1日2時間条例が成立し子どものスマートフォンやSNS利用を条例で規制しようとする動きがニュースとして取り上げられています。国においても、こども家庭庁を中心に、若者の安全なネット利用へ“SNS 規制のあり方”議論が始まりました。

こうした動きを見聞きする中で、「規制」という単純な解決ではなく、学校として何を大切にしていけるかを改めて考えています。もちろん、一定のルールや歯止めが必要な場面もあります。しかし、子どもたちはいずれ大人になり、自分の判断で行動していく存在になります。すべてを大人が規制し続けることには限界があります。だからこそ、今、子どもたちに身に付けさせたいのは、「使ってはいけないからやめる」という姿勢ではなく、「どう使えば自分や周りの人を大切にできるのか」「どんなことに注意すべきか」を自分で考え、判断する力です。インターネットやSNSは、正しく使えば学びを広げ、人と人をつなぐ大切な道具になります。一方で、心を傷つける言葉や誤った情報、依存といった危険も身近に存在しています。

本校では、こうした力を育てるため、日頃から学年の発達段階に応じた情報モラル教育を行っています。加えて、2月12日にはPTA事業として、専門の講師の方をお招きし、高学年児童ならびに保護者の皆さまを対象とした情報モラルについての学習会を予定しています。学校と家庭が同じ視点を共有し、子どもたちを支える大切な機会にしたいと考えています。ぜひ、お時間のある方は参加していただき、親子で考えるきっかけになればと思っています。よろしくお願いいたします。

校長 弓下 伸二  
教職員 一同

